



山形大学  
Yamagata University

# 山形大学IR部門ホーム ページを通じた効果的な 情報発信について

山形大学 学術研究院 講師  
鈴木 達哉

2016年12月13日

於)新潟大学(平成28年度第3回IR実務担当者連絡会)

## 今日の内容

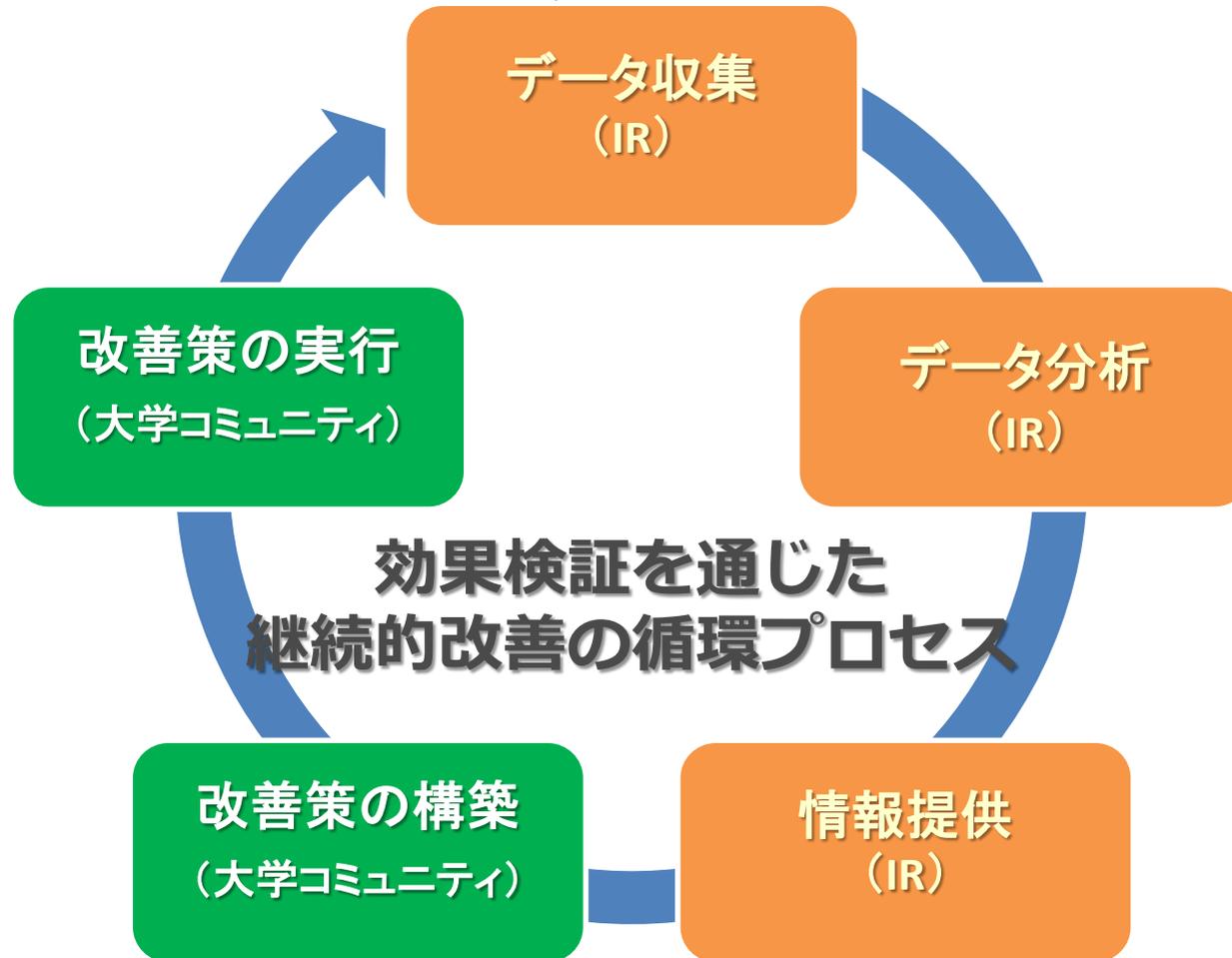
1. 山形大学におけるIEとは
2. OIREのHP運営におけるIEとは
3. サイト概要
4. 実際にデータを集める上での苦労話
5. データを集めてみて
6. データをもとにやってみたこと
7. まとめと今後の課題

## その前にあなた誰？

- 学術研究院 講師(IR・ICT担当) 鈴木達哉(2013年4月～)  
出欠情報収集システムの管理運営、大学情報データベースの管理運営・・・、OIRE (Office of Institutional Research Effectiveness)のHPの運営
- もともとICT業者(2004年スタート、2007年事業化)  
ウェブ(2004年～)、顧客管理システム・CRM(Customer Relationship Management)等制作(2010年～)、GA(Google Analytics)等を使用したウェブ解析(2012年～)、テレビCM制作業者(2008年～)

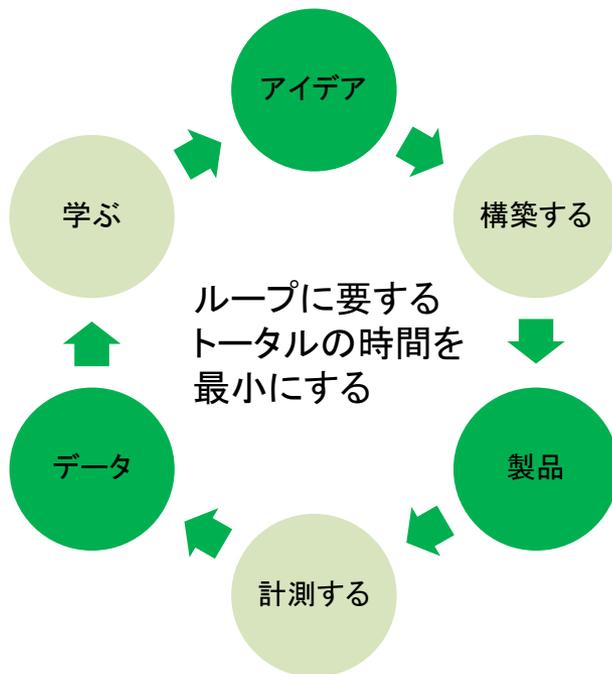
# 1. 山形大学におけるIEとは

## IE (Institutional Effectiveness) とは

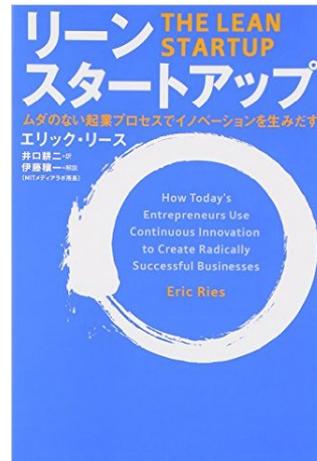


山形大学次世代形成・評価開発機構IR部門Office of Institutional Research & Effectiveness (OIRE) <https://ir.yamagata-u.ac.jp/>

スタートアップで、こんな概念が。。



リーン・スタートアップとは、サイクルタイムの短縮と顧客に対する洞察、大いなるビジョン、大望とさまざまなポイントに等しく気を配りながら、「**検証による学び(validated learning)**」を通して画期的な新製品を開発する方法



似ている！？

Eric, Ries. リーンスタートアップ. 井口耕二. 日経BP社, 2012, 408p

## 2. OIREのHP運営におけるIEとは

---

## 今までのIR部門(EM部)の課題

1. 十分に学内外に広報しきれていない  
(自分たちの活動を共有しきれていない)
2. 我々の行ってきた活動の効果検証が不足していた  
(定期的レポートの公開はしているが、実際にどれぐらい読まれているのか、フィードバックによる改善など)

---

IR部門の課題解決のために

IR部門の活動を伝える場を作る

(例) 各種講演時のプレゼン資料等を公開する



これらの効果検証のためにGoogle Analyticsを導入して、ホームページの継続的改善を目指す

## Google Analyticsとはビーコン型で行うアクセス解析

1. Googleが無料で提供するWebページのアクセス解析サービス。
2. サイト訪問者の動向を把握することで、訪問者の欲求を知り、サイト内の人気ページや不人気ページ、問題のあるページを知り、サイトを改善することで訪問者の満足度を高め、訪問者数を伸ばす。商用サイトであれば業務に寄与し、アフィリエイトサイトであれば収益を伸ばす。



"ウィキペディア Google Analytics", <[https://ja.wikipedia.org/wiki/Google\\_Analytics](https://ja.wikipedia.org/wiki/Google_Analytics)> 2016年12月8日アクセス。

## 2016年11月10日 山形大学IR部門HP立ち上げ

平成28年度「大学教育再生加速プログラム」採択、2016年11月11日に山形大学、明治大学共催によるAPキックオフシンポジウム及び第10回EMIR勉強会「直接評価による学修成果の可視化と質保証強化への挑戦」の明治大学駿河台キャンパス開催を受け、その成果報告の場として、ホームページを立ち上げた。



---

Google Analyticsの試験運用として以下のデータを収集することにした

1. EMIR勉強会時からのアクセス数を見る
  - 学内外の動向を見る
  - どこからアクセスしているか見る
  - 誰の情報が見られているかを見る
2. EMIR勉強会時からのPDFダウンロード数を見る

# 3. サイト概要

---

## 使用したシステムとその理由

### CMSとしてWordPressを使用

#### 1. すぐ運営開始できる

既存のテーマ使ってチャチャツと開始

フルスクラッチで組んだらいつできる？

#### 2. メジャーどころ

面倒なところは数多くのプラグインで対応

自分以外の担当者も使用できるように

---

# 4. 実際にデータを集める 上での苦労話

## 苦労した点とその解決策

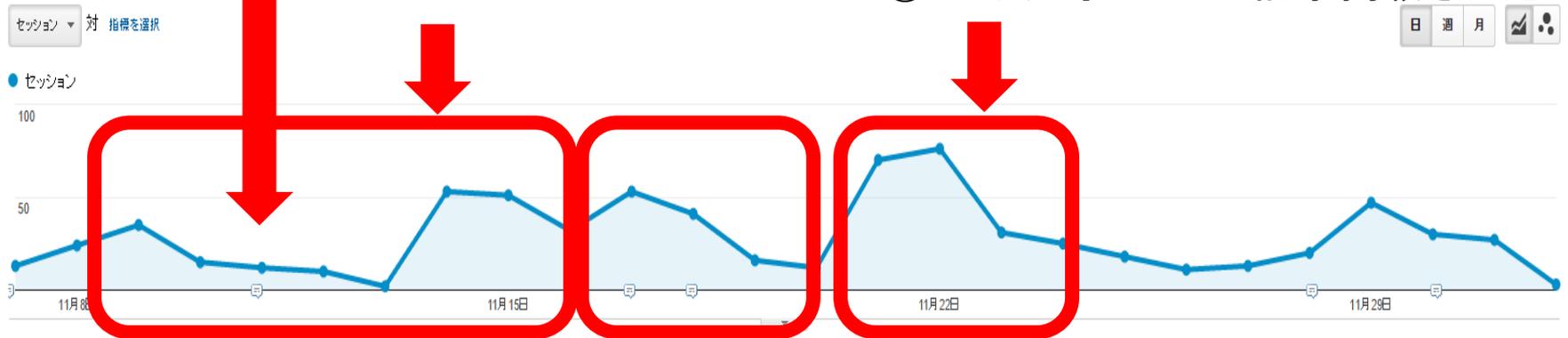
1. テンポが早い！（運用・テスト、決断の速度が早い）  
あきらめる
2. リファラスパム多い！（スパム業者、何を狙ってるの！？）  
フィルタする方法はいろいろあるが、今回は日本、米国以外は見ないようにした。
3. PDFのアドレス直接入力に対応できない！  
良い方法教えてください！
4. 自分からのアクセス多い！  
Chromeのプラグインを使って解決。
5. コンテンツ少ない！  
イベントたくさんやって、記事を増やしていきたい。

# 5. データを集めてみて

## EMIR勉強会近辺のデータ

①11(金)イベント終了時アナウンス。それほどアクセスがなかった(笑)

③ 14(月)からアクセス増。 ⑤ 山形大学のHPに記事掲載された!

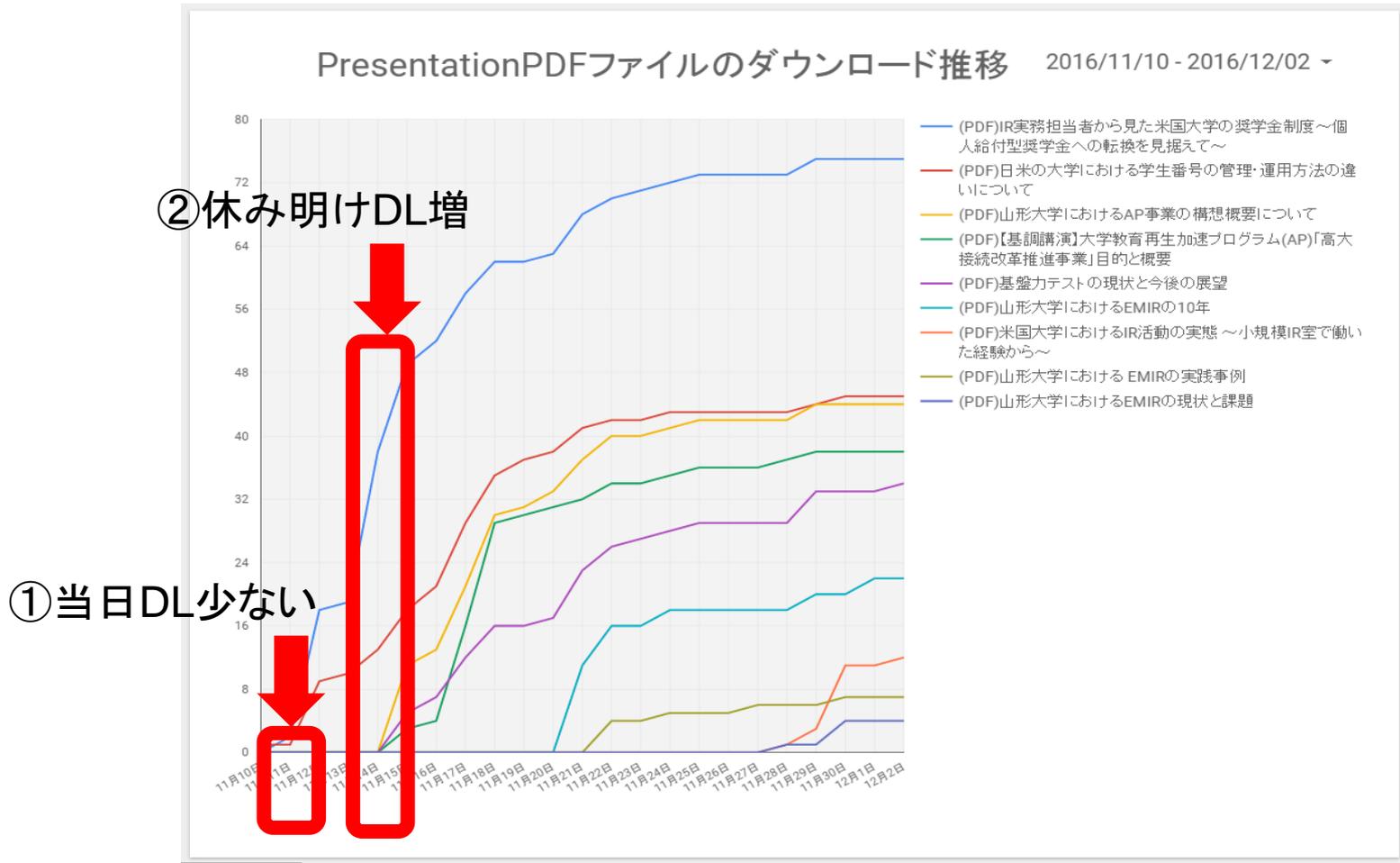


②12(土)、13(日)はアクセス少ない  
ビジネス・企業サイトの特徴  
土日まで見たくない(笑)

④明治大学様サイトに  
イベント開催報告記事。  
流入多。

**アクセス増にイベント活用すべし。**

## EMIR勉強会近辺のデータ PDFファイルDL状況



## 参照元のデータを見てみると

2016/11/10 - 2016/12/02

参照元	ページビュー数	割合
meiji.ac.jp / referral	279	77
meiji.ac.jp / referral	279	77
meiji.ac.jp / referral	279	77
meiji.ac.jp / referral	279	77
meiji.ac.jp / referral	279	77
meiji.ac.jp / referral	279	77
meiji.ac.jp / referral	279	77
meiji.ac.jp / referral	279	77
meiji.ac.jp / referral	279	77
meiji.ac.jp / referral	279	77



(超有名)同業者からのリンクが強い！

# 6. データをもとにやってみたこと

## 明治大学さんから流入したユーザーにPDFファイルを見てもらいたい！

明治大学  
MEIJI UNIVERSITY

English Chinese Korean

Googleカスタム検索

明治大学で学びたい方 在学生の方 卒業生の方 保護者の方 企業・研究者の方

大学案内 学部・大学院 教育 研究 社会連携 国際連携・留学 学生生活 就職・キャリア 図書館・博物館等

ホーム > 大学案内 > 大学評価 > ニュース一覧 2016年度 > シンポジウム「直接評価による学習成果の可視化と質保証強化への挑戦」を山形大学と共催

### 大学評価

- ① 学長挨拶
- ② 内部質保証システム
- ③ 自己点検・評価
- ④ 認証評価
- ⑤ 改善アクションプラン（3カ年計画）
- ⑥ ニュースレター「じこてん」
- ⑦ 学修環境に関する学生アンケート

### ⑥ ニュース一覧

関連ページ

- ① 教育情報の公表
- ② 専任教員データベース
- ③ Oh-of Meiji System

### シンポジウム「直接評価による学習成果の可視化と質保証強化への挑戦」を山形大学と共催

2016年11月17日  
明治大学 評価情報事務室

明治大学は11月11日（金）、山形大学主催によるEM（※1）及びIR（※2）に関する公開シンポジウム「直接評価による学習成果の可視化と質保証強化への挑戦」（A Pキックオフシンポジウム及び第10回EMIR勉強会）に共催し、駿河台キャンパス・グローバルホールで開催した。勉強会は、EMによる大学運営を行っている山形大学が、昨年引き続き、明大で開催したもので、

第1セッションでは、文部科学省から、高大接続の観点を踏まえ、授業を改革することから学生の成長を目指して欲しいとの期待が述べられた後、山形大学からは、教育の国際化や社会との連携から求められている、直接指標（※3）による教育評価の取り組みと、IRによる教育評価の改善方法について紹介があった。第2セッションでは、山形大学における総合学生情報データ分析（EM、IR）による入試、学部教育、進路指導の充実や改善事例の報告とともに、小山学長（山形大学）からIRを活用した大学経営について講演があり、最終セッションでは、「米国における奨学金制度」を事例に、直接指標による評価の重要性について講演があった。各セッションの間には、総合討論として、主催者とフロアとの間で活発な討論が行われた。

EM・IRへの関心は高く、定員を超える申し込みがあり、当日は全国93大学・機関から、約180名が参加した。

※1 EM（エンrollment・マネジメント）  
学生の入学前の大学との接触から、入学後の学習をはじめとする大学でのさまざまな経験、卒業後の自己実現や大学との関係までのプロセスを、データ基盤を活用しながら、全部番が統一した理念のもとで企画・実施する大学マネジメント手法のこと。

※2 IR（インスティテューショナル・リサーチ）  
大学執行部や学部執行部等の企画や改善に向けた意思決定を行う組織に対して、大学の現況をデータの側面から分析・説明し、必要な情報を提供すること。

※3 教育評価における直接指標、間接指標  
直接指標とは、教育による効果を直接的に測定でき、かつ標準性のある指標で、例えば科目試験、卒業論文・試験、外部（汎用）テスト、事前事後試験、ポートフォリオ評価等がある。間接指標とは、教育の効果を間接的に測定する指標で学生アンケート、単位修得率、卒業率、GPA等がある。

当日の資料は、下記のホームページから公開しています。  
・山形大学 次世代形成・評価開発機構 <https://r.yamagata-u.ac.jp/>

当日の資料は、下記のホームページから公開しています。  
・山形大学 次世代形成・評価開発機構 <https://r.yamagata-u.ac.jp/>

トップページへのリンクだったので、  
そこからPDFがDLページへの  
流入にしたい！

## 11月10日は案内のみ

APキックオフシンポジウム及び第10回EMIR勉強会「直接評価による学修成果の可視化と質保証強化への挑戦」のプレゼン資料を、このページで2016年11月11日(金)から順次公開していきますので、どうぞ宜しくお願い致します。

## 11月14日にリンクの間違いを案内。。

11月11日イベントのプレゼンテーションのリンクが間違っておりましたので、修正を行いました。以下よりダウンロード下さい。  
[IR実務担当者から見た米国大学の奨学金制度～個人給付型奨学金への転換を見据えて～\(2016.11.11\)](#)

発表者: 藤原宏司

APキックオフシンポジウム及び第10回EMIR勉強会「直接評価による学修成果の可視化と質保証強化への挑戦」(於: 明治大学)

## 11月15日にトップページにPresentationへのリンク掲載

APキックオフシンポジウム及び第10回EMIR勉強会「直接評価による学修成果の可視化と質保証強化への挑戦」のプレゼン資料を、2016年11月11日(金)から[「Reports & Presentations」ページ](#)にて順次公開してきますので、どうぞ宜しくお願い致します

## 11月16日に公開情報を掲載

APキックオフシンポジウム及び第10回EMIR勉強会「直接評価による学修成果の可視化と質保証強化への挑戦」のプレゼン資料を、[「Reports & Presentations」ページ](#)にて順次公開しております。どうぞ宜しくお願い致します。(2016年11月15日追加)

(22日には、不要、とのことで削除済)

11月17日 明治大学記事掲載

11月21日 山形大学記事掲載

直接的なリンクを張って、行ってもらいたい場所を明確にした

結果。。。

2016/11/08 - 2016/12/08 ▾

ランディングの全セッション **825** のうち、**535** がトップページへのランディング

このうち、**70** が「Reports & Presentations」への2ページ目移動し、  
**465** は、その他のページへ移動した。

このうち、**27 (38.5%)** がトップページのリンクをクリック

このうち、**16 (59.2%)** が **明治大学様** からの流入でした。

**明治大学様リンク頂き、  
本当にありがとうございます！**

# 7. まとめと今後の課題

---

## まとめと今後の課題

1. 情報提供方法の良い方法を探しています。
  1. Google Analyticsのアカウントを渡す
  2. Google Analyticsで定期レポート(PDF)をメール送信
  3. エクセル形式もしくはCSVでDL、エクセル化しレポート作成
  4. グーグルデータスタジオを使って共有
2. PDFの直接DLを測定する方法を探しています。